

<その他、取組に特徴のある事例>

○ワークショップでふるさとづくり提案

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県八幡浜市 <small>やわたはまし</small> 高野地 <small>たかのじ</small>			
協定面積 84.4ha	田	畑 (100%)	草地	採草放牧地
		柑橘、柿、梨		
交付金額 967万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	道・水路管理費		6%
		役員報酬		2%
		研修会費等		2%
		クーラー防除積立		89%
その他		1%		
協定参加者	農業者 46人、非農業者 1人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

高野地集落は、標高 200～400m の高地に位置し、西方に宇和海を望む集落である。農業従事者の割合で最も多いのは 50 歳代であり、専業農家の割合も高く、将来的に後継者が見込める農家も 5 割程度と比較的高い。

しかし、農業後継者不足や農業従事者の高齢化は懸念事項であり、現時点から、認定農業者の育成、優良農地の維持、柑橘の高品質安定生産に努めるとともに、当交付金と「ふるさと・水と土ふれあい事業」を併用して、魅力ある「ふるさと」づくりを目指した取組みを行うこととした。

3. 取組の内容

集落の子供から大人・高齢者も含めた皆が参加し、自分達が住んでいる集落を見つめ直して、問題点を整理し、より住みやすくするためにはどのようにしたらよいかを話し合い、新しいふるさとづくりの提案をまとめるワークショップを開催した。

ワークショップでは、参加者が集落内を実際に見て歩き、見て感じたことを、良い所・悪い所・地域の素晴らしい所・残したい所・改善したい所等に整理し、これらを今後どのようにしていくかを皆で考え、自分達で出来ること、地域全体で考えるべきこと、市や県の協力を得ながら取り組むべきこと等、時期も踏まえて検討を行った。



【集落内散策】



【ワークショップ】

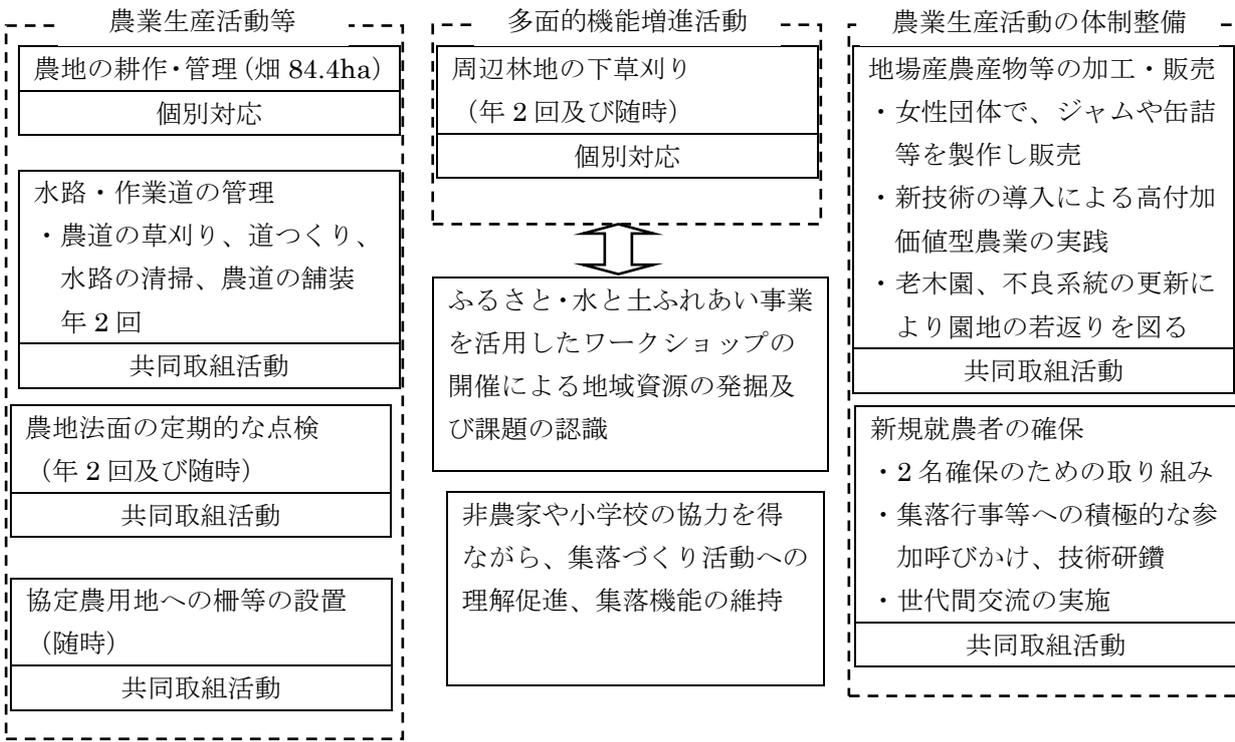
【集落の将来像】

- 非農家や小学校の協力も得ながら集落全体で行う活動を増やし、協定活動や集落づくり（ふるさとづくり）活動への理解促進に努め、集落機能を維持する。
- 農道や園地を適正に管理し景観を保全するなど、地域資源を活用する。
- 収益性の高い柑橘の新品種を導入し、地場農産物の加工・販売に取り組む等、新規就農者・農業後継者・認定農業者の育成を図る。



【将来像を実現するための活動目標】

- 集落住民皆で集落環境の美化や保全に取り組み、自然を残していく。
- 営農に係る技術研修会等を開催することにより、農業後継者の育成、経営能力の向上に努める。
- 担い手への農地の集積を図り、農地更新により高品質安定生産に取り組む。
- 女性団体を中心に、地場農産物の加工・販売に取り組む。



集落外との連携

- 鳥獣害防止対策において、イノシシ等の駆除を猟友会と連携して行う。

4. 今後の課題等

魅力あるふるさとづくりには、行政による施策のみならず、地域の皆が自ら住みよい地域づくりに積極的に参加していくことが大切である。自らが集落の点検やふるさとの診断を行うことで、地域を再発見し、その結果から得られた問題や課題を共通の認識とし、今後もより美しく住みやすい地域づくりのための活動を行っていくとともに、地域外から人を呼び込み、地域を活性化させていく。

【第2期対策の主な成果】

- 地場産農産物の加工販売：農産物を加工したジャム、マーマレード、焼肉のたれ等を商店街や公民館で販売。
- 認定農業者の育成：3人
- 自然生態系の保全に関する学校教育等との連携：長谷小学校児童による体験農園の実施